

【求める15歳の姿】
受け入れ合い
支え合い
高め合う生徒
～互いの考えや意見を尊重
した発言・意見を通して～

鷺 中

生徒会新聞 2月号



TEL86-7950 fax86-7961

発行責任者：校長 鈴木 恭 朗

2月16、17日は学年末テスト（1・2年）この週末を有意義に！

2日（木）は全学年で学力テストを実施しました。3年生にとっては、特に公立高校の一般入試に向けて、今回の結果が本番での目安になります。目標点数を達成した生徒は、自信をもち当日を迎えてほしいと思います。目標点数に届かなかった生徒は、時間が限られていますので、点数を伸ばしやすい科目や単元に絞って取り組むことも、対策の一つです。

1・2年生にとっては、今年度最後の定期試験「学年末テスト」が控えています。範囲表が配布されましたので、特にこの週末、まとまった勉強時間を確保することができるはず。誘惑を断ち切ることができる「意志の強さ」を発揮し、充実した週末にしてほしいと思います。



今年度最後の参観日、来校していただきありがとうございました

31日（火）は今年度最後の参観日でした。保護者の方々に見ていただくことで、生徒の授業への参加意欲も向上し、いつも以上に張り切って発表していた学級もあったようです。極寒という表現がふさわしいかもしれない、本校廊下の寒さには驚いた方も多かったのではないのでしょうか。

また、修学旅行保護者説明会を体育館で行いました。次年度は、旅行先をいよいよ、東北方面に復活させる予定です。道内旅行と比較すると、費用はぐんと跳ね上がりますが、子どもたちにとっては、一生に一度の大切な思い出になりますので、御理解と御協力をお願いします。

2年1組は保体で「心肺蘇生の応急処置」



つばさ学級1の生徒がリモート合同学習に参加 リコーダー演奏を発表

3日（金）午前中、市内5つの中学校の特別支援学級（知的）の生徒たちが、リモートで合同学習を行いました。自己紹介をしたのち、ゲーム大会を行ったり、学級の仲間と力を合わせて発表するなどして、交流を深めることができました。司会担当の登別中学校の生徒4人がてきぱきと司会進行を務めてくれたおかげで、本校生徒もリラックスして参加することができました。このように、自校以外の生徒と交流することも生徒にとっては、貴重な自己成長の場となります。今後も、積極的に自分を表現してほしいと思います。



心温まる出来事がありました 2・3年男子が勇ましく除雪手伝いを

1日の放課後、除雪機が故障してしまい、手作業で除雪をしていたところ、まずは、3年生男子が、「雪かき手伝います。やらせてください」と生徒玄関前を、次に2年生男子8名が、「道具貸してください」と体育館横、駐車場横の通学路をきれいに雪かきしてくれました。本校の生徒の成長と優しさを実感することができ、笑顔で職員室に戻りました。